

令和8年4月8日

公益社団法人日本観光振興協会
観光DX共創部 担当 片山・國吉

jyouhou@nihon-kankou.or.jp

TEL:03-6435-8336 FAX:03-6435-6921

訪日外国人の「どこから・どこへ」が見える

『訪日外国人流動分析』ダッシュボードを公開

～国籍・交通機関・地域間の人流を多角的に可視化し、インバウンド戦略の高度化を推進～

公益社団法人日本観光振興協会（東京都港区 会長 菰田正信 三井不動産（株）代表取締役会長）は、運営する観光DMP「日本観光振興協会デジタルプラットフォーム」（通称：デジプラ）において、訪日外国人の流動データを多角的に分析・可視化できる新機能『訪日外国人流動分析』ダッシュボードを、2026年4月1日より公開いたしました。

本機能の構築にあたっては、観光ビッグデータ分析に強みを持つ株式会社オープントーン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 大輔）の支援を受け、現場の担当者が直感的にデータを読み解き、施策に活用できるツールを実現しました。

『訪日外国人流動分析』ダッシュボード公開 データで支援、インバウンド施策



デジプラで2026年4月公開！

OPEN TONE

■ 背景：インバウンド急増が求める「データ活用」の高度化

2025年の訪日外客数は4,268万人と過去最高を記録しました。自治体や観光地域づくり法人（DMO）には、エビデンスに基づく政策立案（EBPM）の観点から、より高度なデータ活用が求められています。

しかし、訪日客の国籍別の移動ルートや流動実態の把握には多大な手間がかかるという課題がありました。弊協会はこれらの課題を解決し、より効果的な観光施策の立案を支援するため、本ダッシュボードの提供を開始いたしました。

■ 『訪日外国人流動分析』ダッシュボードとは

『訪日外国人流動分析』は、訪日外国人の移動・流動に関する統計データを6つの分析ビューで可視化するダッシュボード機能で、デジプラ【基本機能】上で提供しています。

韓国・中国・台湾・ASEAN・ヨーロッパなど8区分の国籍・地域別データと、空港・港・鉄道・バスなどの交通機関別データを掛け合わせることで、地域ごとのインバウンド動向を多面的に把握できます。データは以下の2つの公的統計を搭載しています。

FF-Data（外国人流動データ）

：国土交通省が公表する訪日外国人の地域間流動データ

（参照：

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000022.html

出入国管理統計

：法務省出入国在留管理庁が公表する出入国者数統計

（参照：

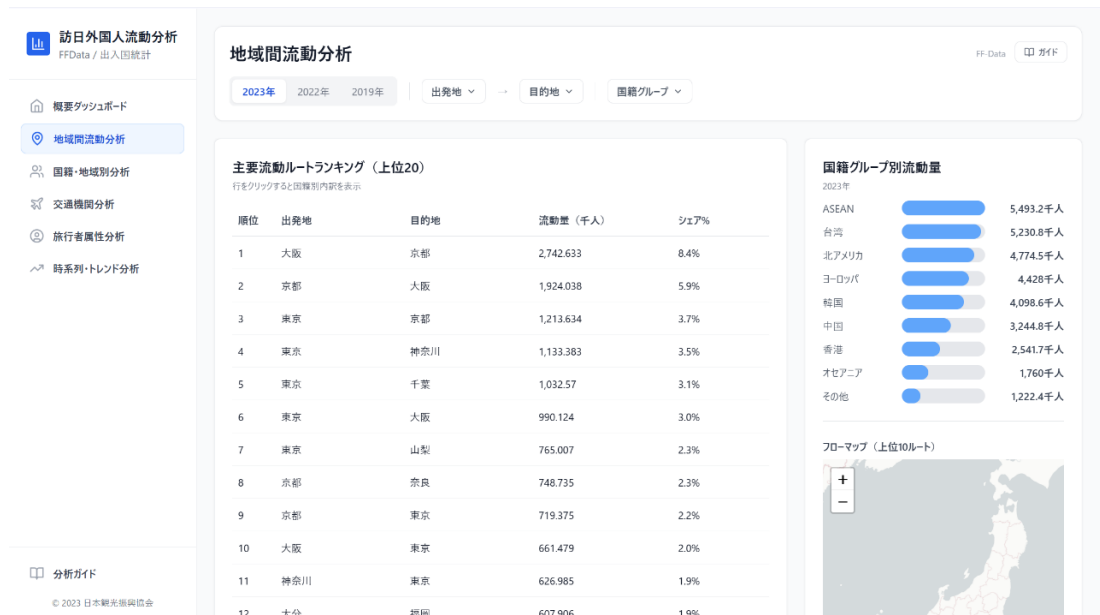
https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/toukei_ichiran_nyukan.html

FF-Dataは2022年・2023年の年次データ、出入国管理統計は2024年、2025年のデータ、コロナ前との比較用としてそれぞれ2019年のデータを含む形で搭載しています。

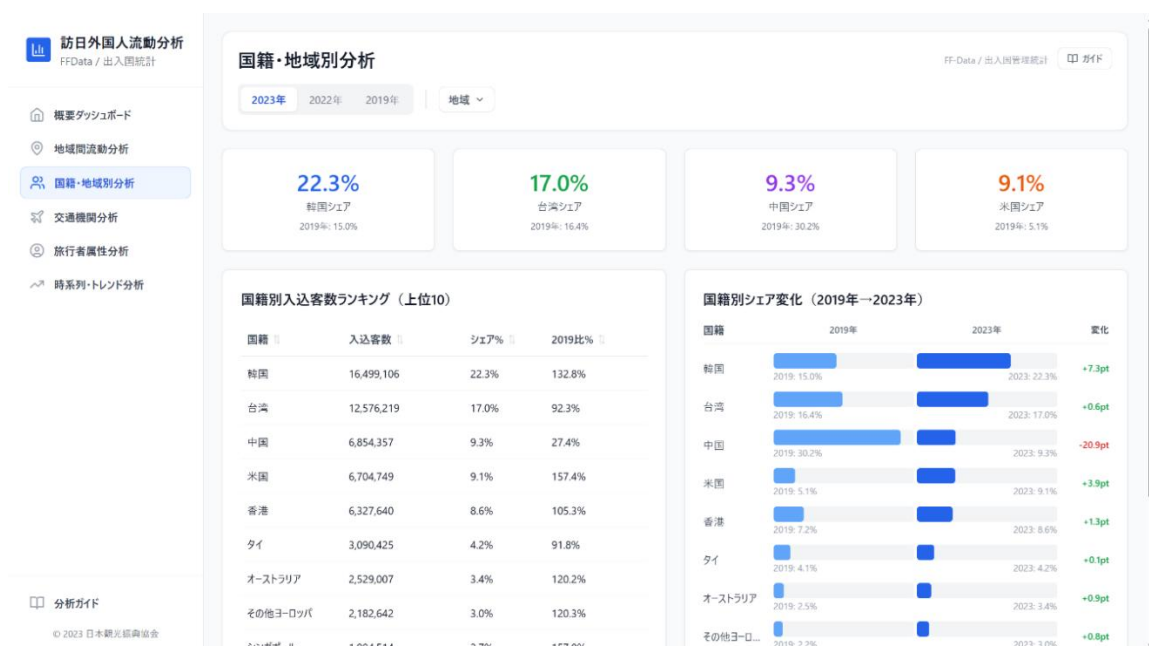
■ 主な特長

【特長① FF-Data・出入国管理統計で訪日外国人の「流れ」をわかりやすく可視化】

国土交通省が公表するFF-Data（外国人流動データ）と法務省の出入国管理統計という2つの公的統計を組み合わせ、訪日外国人の動態を6つの分析ビューで可視化します。都道府県別の来訪者数や国籍別シェアを一覧で把握できる概要ダッシュボードから、出発地と目的地の移動パターンをフローマップで視覚的に確認できる地域間流動分析まで、訪日外国人の「流れ」を直感的に理解できるダッシュボードです。



【特長② 国籍・交通機関・属性・時系列など多角的な分析をわかりやすい操作で実現】
 国籍別分析・交通機関分析・旅行者属性分析・時系列トレンド分析など複数の視点を、直感的な画面操作で切り替えながら分析できます。「どの国籍の訪日客が、どの交通手段を使い、どのような年代・性別で構成されているか」を把握できるほか、比較基準年を任意の年に設定することでコロナ前後の回復状況の把握も可能です。主要空港・海港（クルーズ港含む）別の入国者数ランキングや時系列推移も確認でき、インバウンド施策の根拠資料として幅広く活用いただけます。



【特長③ データの読み方をその場でサポートする「分析ガイド」機能】

画面横に常時表示できる「分析ガイド」機能を備えています。従来のダッシュボードでは「数字は見えるが、どう読み解けばよいかわからない」という声が多くありました。分析ガイドには、各グラフの主な指標の定義・読み解くポイント・活用シーンが同時に表示されます。データ分析に不慣れな担当者でも、グラフを見ながら自然に読み解き方が身につく設計となっています。



■ 活用シーン

行政の観光担当者：

自県への訪日客の国籍構成と交通機関別流動を把握し、次年度のインバウンドプロモーション計画の根拠データとして活用いただけます。

広域連携 DMO、都道府県 DMO、地域 DMO：

地域への来訪者が近隣エリアからどのような経路で流入しているかを分析し、広域連携施策やルート整備の優先度を判断いただけます。

観光協会・港湾担当部局：

クルーズ船の入港動向と近隣地域への訪日客流動を照らし合わせ、クルーズ誘致・受入体制整備の方針を検討いただけます。

■ ご利用方法

デジプラへのご登録後、ダッシュボード機能としてご利用いただけます。

詳細はサービスページをご確認ください。

デジプラ紹介 HP : <https://lp.nihon-kankou-dx.info/>